

日本システム監査人協会 西日本支部合同研究会 i n O S A K A

発表 1	テーマ	大震災が情報システムに訴えていること
	講演者	日本システム監査人協会 副会長 中山 孝明氏
	概要	震災による情報システムの被災状況を具体的にみると、既往の災害予防や復旧策の多くが、机上の対策に過ぎないことがよく分かる。大震災の教訓は生かされているか、システム監査はその実用性・実効性を検証しているか、などについて考える。
発表 2	テーマ	クラウドソーシングによる災害対策
	講演者	近畿支部 吉田 博一氏 (前 近畿支部長)
	概要	これまで災害対策は、行政が情報を収集し、避難などの対策を講ずるものであった。海外では、クラウドソーシングのサービスが災害時に活用され、官民連携が進んでいる。日本における官民連携によるレジリエンスな耐災害性の高い社会システムについて考察する。
発表 3	テーマ	金融機関におけるコンティンジェンシープラン策定整備とそのシステム監査
	講演者	北信越支部 支部長 宮本 茂明氏
	概要	金融機関では、東日本大震災を踏まえた業務継続態勢整備として実効性向上を目指したコンティンジェンシープランの策定整備が行われている。これらの取組事例とそのシステム監査について北信越支部会員による意見交換をもとに報告する。
発表 4	テーマ	グローバル展開している自動車部品製造業者の国際間BCP事例紹介
	講演者	中部支部 原 善一郎氏 (元 中部支部長)
	概要	世界7カ国に製造と販売拠点を持つ自動車部品製造業者のITのBCP/DR活動の取り組みにおいて、実現したこと、計画中的なこと、および、その中での国際間BCPの問題点と解決案を提示する。そして、新たな監査ポイントを提示する。
発表 5	テーマ	事業中断計画とシステム監査
	講演者	九州支部 副支部長 船津 宏氏
	概要	事業継続計画では、事業継続にかかるリスクを想定し、BC (Business Continuity)とDR (Disaster Recovery)を検討し、準備を日常の業務に反映する。しかし、多くの中小企業では何処まで実施するかなど迷いも多く難しいものである。そこで、DRを伴わない事業継続計画を事業中断計画として、再起を前提とした事業の終了の仕方を考え、事業継続計画のひとつの方法論と監査手法を考察する。
発表 6	テーマ	近畿支部BCP研究プロジェクト活動報告
	講演者	近畿支部BCP研究プロジェクト 金子 力造氏
	概要	本プロジェクトでは、大災害の経験を踏まえ、IT-BCPと初動対応をテーマに研究を行ってきた。本年度は、その成果を基にIT部門の初動対応をモデルに訓練を通じた気づきの重要性について提示する。